



ADRC Highlights

Vol.42

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

March 1, 2002

➤ アジア地域災害 NGO シンポジウム開催



□ アジア地域16カ国のNGOが参加

アジアでは、自然災害の軽減のため、政府、国際機関のみならず NGO が積極的な役割を果たしています。これらの NGO は、災害直後の救援活動はもとより復旧・復興活動、さらには普段からの防災教育や普及啓発活動といった災害予防の面でも、地元に着目した支援活動を展開している一方、個々の対応には限度があり、一層の行動力の向上や関係機関との連携が求められています。

アジア防災センターでは、アジア地域の災害 NGO 同士が国境を越えてネットワーク化及び協力を促進すべく、「アジア地域災害 NGO シンポジウム」および「NGO のネットワークと協力に関するワークショップ」を平成 14 年 2 月 20 日から 3 日間にわたり神戸市のポートピアホテルにおいて国連人道問題調整事務所神戸、兵庫県と共催で開催しました。

会議には、アジア地域 16 カ国からの災害関連 NGO をはじめ、国連人道問題調整事務所ニューヨーク所長エド・ツイ氏、国連国際防災戦略事務局長サルバノ・プリセーニョ氏、ASEAN 基金事務局長ルーベン・オマリー氏、国連、内閣府、兵庫県などのスタッフなど約 80 名が集まりました。

会議を通じて NGO が活動していく上で、相互の協力、情報交換、経験の共有といった観点から、国境を越えたネットワーク化の必要性が確認され、

- ・今回の参加 NGO 間でネットワークを形成することとし、当面、アジア防災センターおよび国連人道問題調整事務所神戸がアジア地域災害 NGO のネットワークの事務局としての役割を担う。
- ・アジア防災センターの Web 上に、アジア災害 NGO データベースを立ち上げる。
- ・NGO 間の協力を促進するため、定期的に NGO 会議を開催することなどが決まりました。(合意書草案参照)

(主任研究員 吉村文章)

➤ ADRC スタッフ紹介 No.12

□ 主任研究員 羽鳥 友彦 (はとり ともひこ)

この 2 月 1 日付けで株式会社パスコからアジア防災センターに転向になりました羽鳥友彦と申します。パスコでは地理情報システム(GIS)の開発と各種 GIS データ作成をメインに約 5 年間勤務して参りました。防災



関係の業務としては、地震発生時の意思決定支援システムの開発や、地滑りデータの作成、津波シミュレーションなどに用いる海底地形データの作成等に関わってきました。

アジア防災センターに来て一ヶ月弱、わずかに十人余りのスタッフで実に多彩な業務を遂行していることに驚いています。現在のこれまでの経験を災害軽減・危機管理の国際協力にどう活かすか模索している最中です。また、過去の経験にとらわれず新しいことにも挑戦していきたいと考えております。

➤ ADRC メンバー国からのレポート

□ ネパールにおける災害死者数統計

[1983 年から 2001 年までのネパールにおけるさまざまな災害による死者数の統計](#)を ADRC ホームページで公開します。

(ネパール政府内務省 Mr. Lekh Nath Pokharel からの投稿)

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル 3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)